

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画									
小学校			中学校													
1	2	3	4	5	6	①	2	3								
月	単元名	言葉に出会うために(5)				系統単元の性	小学校では、視点の違いに着目して、人物像を捉える・作品の世界を捉える・物語の読みを広げることを学習している。中学校では、表現の効果を考え、詩の言葉を読み味わい、語感をみがいでいく。									
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫									
	朝のリラ ・詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 ・詩の特徴を活かして音読する。  野原はうたう ・「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 ・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。  声を届ける・書き留める・言葉を調べる ・音読・発表のしかたを理解する。 ・ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。 ・辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。						つまずきやすい ポイント		・気に入った表現が思いつかない。 ・辞書の引き方。				工夫・手立て		・気に入った言葉、表現技法、音読して読みやすかったところなどの観点を示す。 ・辞書の引き方がわからない生徒に個別に対応する。	
	評価規準															
	知識・技能		速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。				思考・表現・判断		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を活かして音読しようとしている。 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を活かして音読しようとしている。				主体的に学習に取り込む態度		ノート・行動観察・自己評価	
月	単元名	学びをひらく(3)				系統単元の性	小学校では、視点の違いに着目して、人物像を捉える・作品の世界を捉える・物語の読みを広げることを学習している。中学校では場面の展開に着目し、心情や行動を表す語句に注意して読めるようにしていく。									
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫									
	シンジュン ・作品の全体像を捉える。 ・場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。 ・読み深めた感想を交流する。						つまずきやすい ポイント		・登場人物の関係が読み取れる表現を文中から探すこと。 ・自分の経験を基に読み終えた感想を書くこと。				工夫・手立て		・ワークシートの工夫。 ・会話に関わる語句に着目するように指導する。 ・心情を表す言葉に着目して感想を書くように指導する。	
	評価規準															
	知識・技能		登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。				思考・表現・判断		場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。				主体的に学習に取り込む態度		場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 行動観察・自己評価	
月	単元名	学びをひらく(1)				系統単元の性	小学校6年生では、資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝えることを学習している。中学校では、必要な情報を的確に聞き取り、メモを取り、情報を整理できるようにしていく。									
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫									
	情報を的確に聞き取る ・情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。 ・例文を聞き、メモを取る。 ・効果的なメモの取り方を確かめる。						つまずきやすい ポイント		・効果的なメモの取り方を考え、メモを取ること。  ・グループでメモを見せ合い、工夫点を共有する。				工夫・手立て			
	評価規準															
	知識・技能		5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。				思考・表現・判断		日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。 情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。				主体的に学習に取り込む態度		進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 ノート・プリント・行動観察	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画							
小学校						中学校								
1	2	3	4	5	6	①	2	3						
月	単元名	学びをひらく(1)				系単元性の	小学校6年生では、資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝えることを学習している。中学校では、シンキングツールなどを効果的に活用し、情報の比較・分類をできるようにしていく。							
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	情報整理のレッスン 比較・分類 ・学習の目的を理解する。 ・情報を比較・分類する方法を確かめる。 ・問題1～2に取り組む。						・情報を比較，分類すること。							
							・ワークシートの工夫。(比較，分類をする) ・デジタル教科書の活用。							
評価規準														
知識・技能	比較や分類，関係付けなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。				思考・表現・判断	学習課題に沿って，積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使おうとしている。								
	ノート・プリント・行動観察					ノート・プリント・行動観察								
月	単元名	学びをひらく(4)				系単元性の	小学校3年生では手紙で気持ちを伝えること，小学校6年生で考えたことや感じたことを伝えることを学習している。ここでは，その学習を活かして，事柄・目的・相手に応じた，情報の整理の仕方を理解していく。							
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	情報を整理して書こう わかりやすく説明する ・目的や相手を明確にして題材を決める。 ・情報を集め，整理する。 ・構成を考える。 ・下書きをし，文章にまとめる。						・テーマについての情報を集めること。 ・文章の構成を考えること。							
							・マッピングを活用して情報を集める。 ・教科書の構成の例を提示する。 ・chromebookを活用する。							
評価規準														
知識・技能	集めた情報を，観点に沿って比較したり，共通点を見つけて分類したりして整理している。				思考・表現・判断	目的や相手を意識して，情報を集めて整理し，説明の文章の構成を考えている。								
	プリント・行動観察					プリント・行動観察								
						プリント・行動観察・自己評価								

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画							
小学校						中学校								
1	2	3	4	5	6	①	2	3						
月	単元名	学びをひらく(1)				系統単元の	小学校4年生で漢字の組み立て、小学校5年生で漢字の成り立ちを学習している。ここでは、その学習を活かして漢字の組み立てや部首についての理解を深めていく。							
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	漢字の組み立てと部首 ・導入部分を読み、漢字の組み立てに興味をもつ。 ・偏旁冠脚について理解する。 ・部首の種類について理解する。 ・漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。						つまぎやさい ポイント		・漢字の組み立てや部首について理解すること。					
							工夫・手立て		・漢字の組み立てや部首についての問題を作り、出題し合う。					
評価規準														
知識・技能		漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。				思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度				学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
		ノート・問題集・定期考査・行動観察										ノート・問題集・定期考査・行動観察		
月	単元名	新しい視点で(2)				系統単元の	小学校3年生で、段落とその中心を捉える学習を行っている。ここでは、段落の役割に着目して、文章の内容を捉えていく。その際、本文中では、どのように比較が行われているかを確かめる。							
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	ダイコンは大きな根？ ・本文を通読する。 ・文章の中心的部分を捉える。 ・段落の役割について考える。 ・考えたことを発表し合う。						つまぎやさい ポイント		・問いと答えの文を読み取ること。 ・文章の工夫点を考えること。					
							工夫・手立て		・文末表現に着目するように指導する。 ・デジタル教科書の活用。					
評価規準														
知識・技能		本文中で比較がどのように使われているかを理解している。				思考・表現・判断		「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。				文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。		
		ノート・問題集・定期考査・行動観察						ノート・問題集・定期考査・行動観察				行動観察・自己評価		

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校			中学校						
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
月	単元名	新しい視点で(3)			系統単元の	ここでは、前単元の学習を踏まえ、かつ筆者の主張と事例との関係を理解していく。その上で、段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉えることができるようにしていく。			
6	ちよっと立ち止まって ・本文を通読する。 ・文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ・文章の構成に着目し、その効果を考える。 ・考えたことを伝え合う。					「わかる」から「できる」授業への工夫 ・段落の働きを考えて3つのまとまりに分けること。 ・文章の構成に着目し、その効果を考えること。			
						・グループでの話し合いを行う。 ・結論に示された筆者の考えだけが述べられていたらどう感じるかを問いかける。 ・デジタル教科書の活用。			
	評価規準								
	知識・技能	筆者の主張と事例との関係を理解している。			思考・表現・判断	序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。			
		ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・定期考査・行動観察			
						進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。			
						行動観察・自己評価			
月	単元名	新しい視点で(1)			系統単元の	小学校では、調べた情報を用いて、主張と事例の関係を捉える学習を行っている。ここでは、根拠をもとに、根拠と意見をつなぐ考えをまとめ、意見を伝えられるようにしていく。			
6	思考のレッスン1 意見と根拠 ・意見の根拠を確認することの大切さを理解する。 ・説得力のある根拠について考える。 ・意見と根拠の結び付きを考える。					「わかる」から「できる」授業への工夫 ・意見と根拠を結び付けて考えること。			
						・教科書の例題に取り組む。 ・この授業で学んだことを日常生活のどのような場面で生かすかを考えさせる。			
	評価規準								
	知識・技能	説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。			思考・表現・判断	学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。			
		ノート・プリント・行動観察				ノート・プリント・行動観察			

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画							
小学校						中学校								
1	2	3	4	5	6	①	2	3						
月	単元名	新しい視点で(4)				系単元性の	小学校では、聞いて、考えを深めること・資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝えることを学習している。ここでは、話の構成を工夫し、声の大きさや速さなど、話し方を意識して話すことを学習する。							
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	好きなことをスピーチで紹介する ・話題を決め、材料を選ぶ。 ・話の構成を考える。 ・スピーチの練習をする。 ・スピーチの会を開く。 ・学習を振り返る。						つまみさわやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの話題を決められない。</li> <li>・聞き手に伝わるスピーチを行うこと。</li> </ul>						
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッピングを活用して話題を挙げる。</li> <li>・ペアでスピーチの練習をし、アドバイスさせる。</li> <li>・デジタル教科書の活用。</li> </ul>						
評価規準														
知識・技能	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。				思考・表現・判断	聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。				主体的に学習に取り組む態度	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。			
発表・行動観察・自己評価				ノート・プリント・発表・行動観察・自己評価				ノート・プリント・発表・行動観察・自己評価						
月	単元名	新しい視点で(2)				系単元性の	小学校の文法の学習を活かし、文法の定義や言葉の単位について理解していく。							
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	文法への扉1 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解く。						つまみさわやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位を理解すること。</li> </ul>						
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。</li> <li>・小テストを行い、定着度を確認する。</li> <li>・読み物教材を扱う際に、どのように使われているかを確認する。</li> <li>・デジタル教科書の活用。</li> </ul>						
評価規準														
知識・技能	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。				思考・表現・判断					主体的に学習に取り組む態度	単語の類別を理解するために、今までの学習を活かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。			
ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察						

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画						
小学校			中学校										
1	2	3	4	5	6	①	2	3					
月	単元名	情報社会を生きる(3)				系単元性の	小学校6年生では、情報と情報をつなげて伝えること・調べた情報を用いることを学習している。ここでは、その学習を活かし、情報を集めることや情報を読み取る方法などについて理解していく。						
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫						
	<p>情報を集めよう/読み取ろう/引用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べる内容を絞り込む。</li> <li>調べ方を考え、情報を集める。</li> <li>情報を読み取る。</li> <li>情報の適切な引用のしかたを考える。</li> <li>著作権について知る。</li> </ul>						つまずきやすい ポイント		目的に応じて必要な情報に着目すること。				
							工夫・手立て		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの工夫。</li> <li>デジタル教科書の活用。</li> </ul>				
	評価規準												
	知識・技能	グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。				思考・表現・判断	調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。				主体的に学習に取り組み態度	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	
		ノート・プリント・定期考査・行動観察					ノート・プリント・定期考査・行動観察					ノート・プリント・行動観察	
月	単元名	言葉に立ち止まる(3)				系単元性の	小学校では、視点の違いに着目して、人物像を捉える・作品の世界を捉える・物語の読みを広げることを学習している。ここでは、表現の効果を考え、詩の言葉を読み味わい、語感をみがいていく。						
7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫						
	<p>詩の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を音読する。</li> <li>詩を読んで、感じたことを交流する。</li> <li>描かれた情景や表現の効果について話し合う。</li> <li>詩のよさを発表する。</li> <li>三編の詩の表現を参考にして、詩を作る。</li> </ul>						つまずきやすい ポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>何を話し合ったらよいのかわからない。</li> <li>詩を作るときに題材が決まらない。</li> </ul>				
							工夫・手立て		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの工夫。</li> <li>話し合いのポイントとなる観点を示す。</li> <li>詩の題材になりそうなものを巡撫する。</li> <li>デジタル教科書の活用。</li> </ul>				
	評価規準												
	知識・技能	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。				思考・表現・判断	詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。				主体的に学習に取り組み態度	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって詩を創作しようとしている。	
		ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・行動観察・自己評価	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
7	月	単元名 言葉に立ち止まる(2)	系単元性の	小学校では、筆者の主張と、それを支える事例を捉える・筆者の考えと表現の工夫を捉えることを学習している。ここでは、比喩について理解し、言葉についての考えを深める。					
学習活動							「わかる」から「できる」授業への工夫		
比喩で広がる言葉の世界 ・本文を通読する。 ・段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。 ・言葉について考える。 ・学習を振り返る。							つまずきやすい ポイント	・比喩の定義を読み取ること。	
							工夫・手立て	・〇〇は～であるという文型に着目させる。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。			思考・表現・判断	各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。			主体的に学習に取り組む態度	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・行動観察・自己評価	
7	月	単元名 言葉に立ち止まる(2)	系単元性の	小学校3・4年生で接続する語句について学習している。それを踏まえ、ここでは、指示する語句と接続する語句の役割を理解する。					
学習活動							「わかる」から「できる」授業への工夫		
指示する語句と接続する語句 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解く。							つまずきやすい ポイント	・指示語が差している内容を読み取ること	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・読み物教材を扱う際に、どのように使われているかを確認する。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	指示する語句と接続する語句の役割を理解している。			思考・表現・判断	今までの学習を活かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。			主体的に学習に取り組む態度	
	ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・行動観察・自己評価				

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	①	2	3		
月	単元名	読書生活を豊かに(3)				系単元性の	小学校では、自分のお気に入りの本を紹介し、自分と本との関わりについて考えている。ここでは、読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。			
7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	読書を楽しむ・読書案内・読書コラム ・教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 ・ポップ作りを行う。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント	・どのようなポップを書いたらよいかを考えること。		
							工夫・手立て	・ポップについては、実物や書店に並んでいる様子の写真を用意する。 ・印象に残った言葉を載せるように指導する。		
評価規準										
知識・技能	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。				思考・表現・判断	文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。			主体的に学習に取り込む態度	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を活かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察				プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	心の動き(4)				系単元性の	小学校では、視点の違いに着目して、人物像を捉える・作品の世界を捉える・物語の読みを広げることを学習している。中学校では「シンジュン」で場面の展開に着目することを学習している。ここでは、描写に着目して作品を読んでいく。			
8 9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	大人になれなかった弟たちに…… ・描写に着目して登場人物の心情を捉える。 ・題名のもつ意味について考える。 ・表記に込められた作者の意図を考える。						つまずきやすい ポイント	・登場人物の心情を読み取ること。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・人物の行動や情景を表す描写の部分に線を引かせる。 ・現代の生活と比較させる。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準										
知識・技能	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。				思考・表現・判断	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。			主体的に学習に取り込む態度	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
	ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察				ノート・プリント・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校				中学校					
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
9月	単元名	心の動き(5)			系単元の	1学期には「シンシユン」で場面の展開に着目することを、前単元の「大人になれなかった弟たちに……」では描写に着目することを学習している。ここでは、場面や描写を結び付けて作品を読んでいく。			
学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
星の花が降るころに ・「私」を中心に作品の内容を押さえる。 ・場面や描写を結び付けて読む。 ・印象に残った場面や描写を語り合う。 ・物語の続きを考えて書く。					つまずきやすい ポイント		・登場人物の心情の変化を読み取ること。		
					工夫・手立て		・ワークシートの工夫。 ・人物の行動や情景を表す描写の部分に線を引かせる。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能		様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたどっているのか考えている。		思考・表現 判断		場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。		主体的に学習に取り組む態度	
		ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察				ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察		ノート・プリント・行動観察・自己評価	
9月	単元名	心の動き(1)			系単元の	小学生5年生で聞きたいことをはっきりさせて話の流れに沿って質問することを学習している。ここでは、聞き方の工夫や質問の種類を知り、実際に対話の中で使って練習をしていく。			
学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
質問で話を引き出す ・聞き方の工夫や質問の種類を知る。 ・「夏休みのいちばんの思い出」をテーマに、対話の練習をする。 ・学習を振り返る。					つまずきやすい ポイント		・質問の仕方を工夫すること		
					工夫・手立て		・ペアでの質問練習を行う。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能		話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。		思考・表現 判断		話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。		主体的に学習に取り組む態度	
		ノート・行動観察				ノート・行動観察		ノート・行動観察・自己評価	

学年											
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	①	2	3			
小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画											
月	単元名	心の動き(2)				系単元の	小学校3年生で案内の手紙を書くことを学習している。ここでは、案内文の書き方を確かめ、案内する事柄と相手を決め、情報を整理し、案内文を作成する。				
9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	案内文を書く ・案内文の書き方を確かめる。 ・案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。 ・案内文を作成する。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント	・相手や目的に合わせて情報を選ぶこと。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能	情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に活かしている。				思考・表現・判断	伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。					
	ノート・プリント・定期考査・行動観察					ノート・プリント・定期考査・行動観察					
						主体的に学習に取り込む態度 集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。					
						ノート・プリント・行動観察					
月	単元名	心の動き(1)				系単元の	小学校4年生で、自分の思いが読む人にも伝わるかを考え、他の言葉や言い方がないかを考え、文章を整えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、読み手の立場に立って、案内文を推敲する。				
9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	【推敲】読み手の立場に立つ ・読み手の立場に立って、案内文を推敲する。 ・書きかえた案内文について、伝えようとする内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。						つまずきやすい ポイント	読み手の立場に立って文章を整えること。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・推敲した文章をペアやグループで読み合う。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能	正確でわかりやすい表現に書き改めている。				思考・表現・判断	読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。					
	プリント・行動観察					プリント・行動観察					
						主体的に学習に取り込む態度 粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。					
						プリント・行動観察					

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
10月	単元名	心の動き(2)				系単元の	小学校5年生で、方言と共通語について学習している。ここでは、方言と共通語の違いを理解し、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。		
学習活動							「わかる」から「できる」授業への工夫		
方言と共通語 ・教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。							つまずきやすい ポイント	方言と共通語の違いを理解すること。	
							工夫・手立て	デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	共通語と方言の役割や特徴について理解している。					思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度		今までの学習を活かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・行動観察
10月	単元名	心の動き(1)				系単元の	小学校3年生で漢字の音と訓について学習している。ここでは、漢字の読みには「音」と「訓」があることや「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。		
学習活動							「わかる」から「できる」授業への工夫		
漢字の音訓 ・導入部分を読み、漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 ・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 ・漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。							つまずきやすい ポイント	漢字の「音」と「訓」について理解すること。	
							工夫・手立て	・漢和辞典の活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。					思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画						
小学校						中学校							
1	2	3	4	5	6	①	2	3					
10	月	単元名 筋道を立てて(5)	系単元性の	1学期に「ダイコンは大きな根」では段落の役割に着目して、文章の内容を捉えていくこと、「ちょっと立ち止まって」では段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉えることを学習している。ここでは、筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解し、文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。									
				学習活動				「わかる」から「できる」授業への工夫					
				「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・文章の構成と内容を捉える。 ・論の展開に着目し、その効果を考える。 ・結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。				つまずきやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の役割によって分けること</li> </ul>				
								工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの工夫（分ける箇所とその理由を記入できるもの）</li> <li>chromebookの活用。</li> <li>デジタル教科書の活用。</li> </ul>				
評価規準													
知識・技能		筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。			思考・表現・判断		筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。		主体的に学習に取り組む態度	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。			
		ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・定期考査・行動観察・自己評価			
10	月	単元名 筋道を立てて(1)	系単元性の	小学校5年生では、原因と結果の関係について学習している。ここでは、その学習を活かし、原因と結果がどうつながっているか整理し、2つの関係について理解する。									
				学習活動				「わかる」から「できる」授業への工夫					
				思考のレッスン2 原因と結果 ・例題や問題から原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。 ・例題や問題から原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。 ・学習を振り返る。				つまずきやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>原因と結果の関係を読み取ること</li> </ul>				
								工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの工夫</li> <li>デジタル教科書の活用。</li> </ul>				
評価規準													
知識・技能		原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。			思考・表現・判断		今までの学習を活かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。		主体的に学習に取り組む態度	ノート・行動観察			
		ノート・行動観察								ノート・行動観察			

学年										小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画											
小学校						中学校															
1	2	3	4	5	6	①	2	3													
月	単元名	筋道を立てて(5)				系統単元の	小学校5年生で調べたことを正確に伝えることや、グラフや表を用いて書くことを学習している。ここでは、その学習を活かし、本や資料から文章や図表を引用し、根拠を明確にして自分の考えを伝える。														
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫														
	資料を引用してレポートを書く ・課題を決め、調査を行う。 ・調査結果を整理し、構成を考える。 ・図表などを引用してレポートを作成する。 ・レポートを読み、評価し合う。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント				・統計資料から課題を決めること										
							工夫・手立て				・グループでの話し合いを行う。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。										
	評価規準																				
	知識・技能	情報を整理し、自分の考えを裏付ける資料やデータを選び、出典の示し方に気を付けながら引用している。				思考・表現・判断	自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。自分の考えを裏付ける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連付けて、考察を導き出している。				主体的に学習に取り組む態度	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。									
		プリント・行動観察					プリント・行動観察					プリント・行動観察・自己評価									
月	単元名	筋道を立てて(1)				系統単元の	小学校6年生で、目的や条件に応じて計画的に話し合うことを学習している。ここでは、その学習を活かし、意見と根拠の関係を理解する。														
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫														
	話し合いの展開を捉える ・教材文を読み、「登山研修の思い出」についての展示内容の話し合いであるという目的を確認する。 ・話し合いの例文を聞き、空欄①②に当てはまる言葉を検討する。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント				・話し合いの展開を捉えること。 ・相手の発言を正確に理解すること。										
							工夫・手立て				・デジタル教科書の活用。										
	評価規準																				
	知識・技能	「上達のポイント」を理解している。				思考・表現・判断	話題や展開を捉えながら話し合うために気を付けることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。				主体的に学習に取り組む態度	進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。									
		ノート・行動観察					ノート・行動観察					ノート・行動観察									

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校			中学校						
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
月	単元名	筋道を立てて(4)			系統単元の	前単元で学習した意見と根拠の関係を理解することを活かし、意見と根拠を明確にして話し合う。			
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	グループ・ディスカッションをする ・話し合いの話題を決め、目的を明確にする。 ・自分の考えをまとめる。 ・司会と書記を決め、グループで話し合う。 ・話し合いの結果を報告する。 ・学習を振り返る。					つまずきやすい ポイント	・話し合いの話題を決めること。 ・意見を出し合うこと。		
						工夫・手立て	・意見を分類するときに使う表現を提示する。 ・意見の整理の仕方を提示する。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能	自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。			思考・表現・判断	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。		主体的に学習に取り組む態度	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	
	プリント・行動観察				プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価	
月	単元名	筋道を立てて(2)			系統単元の	1学期の「朝のリラレー」や「野原はうたう」では、表現の効果を考え、詩の言葉を読み味わい、語感をみかくことを学習している。ここでは、語感を磨き、語彙を豊かにし、表現の効果などについて考える。			
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	大阿蘇 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。					つまずきやすい ポイント	・詩の表現上の工夫を考えながら朗読すること。		
						工夫・手立て	・ワークシートの活用。 ・個人、ペア、班での朗読を行う。		
評価規準									
知識・技能	詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。			思考・表現・判断	繰り返しの表現や繰り返ししながら変化している表現などに着目しながら考えている。		主体的に学習に取り組む態度	進んで表現の効果について考え、これまでの学習を活かして朗読しようとしている。	
	ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・定期考査・行動観察・自己評価	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画							
小学校			中学校											
1	2	3	4	5	6	①	2	3						
月	単元名	いにしへの心にふれる(1)				系単元性の	小学校での伝統的な言語文化(古典)の学習を振り返り、七五調のリズムを味わう。また、中学校3年間の古典の学習の見直しをもつ。							
11	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	音読を楽しもう いろは歌 ・「いろは歌」を音読する。 ・3年間の古典学習について見直しをもつ。						つまずきやすい ポイント	・歴史的仮名遣いの読み方。						
							工夫・手立て	・デジタル教科書の活用。 ・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人)						
評価規準														
知識・技能	言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。				思考・表現・判断	主眼的に学習に取り組む態度						古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を活かして古文を音読しようとしている。		
知識・技能	ノート・問題集・定期考査・行動観察				思考・表現・判断							行動観察		
月	単元名	いにしへの心にふれる(4)				系単元性の	小学校5年生で竹取物語について学習している。ここでは、その学習を活かし、音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しむ。また、「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考える。							
11	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫							
	蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から ・古典の文章を、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・描かれている古典の世界を想像する。						つまずきやすい ポイント	・歴史的仮名遣いの読み方。 ・古典の世界を想像すること。						
							工夫・手立て	・デジタル教科書の活用。 ・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・グループでの話し合いを行う。						
評価規準														
知識・技能	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。				思考・表現・判断	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。								
知識・技能	ノート・問題集・定期考査・暗唱・行動観察				思考・表現・判断	ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・暗唱・行動観察・自己評価					

学年													
小学校						中学校							
1	2	3	4	5	6	①	2	3					
小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画													
月	単元名	いにしへの心にふれる(3)				系単元性の	小学校3年生で故事成語について学習している。ここでは、その学習を活かし、音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解し、故事成語と自分の生活を結び付けて考える。						
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫							
	<p>今に生きる言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。</li> <li>本文を読み、故事成語について理解する。</li> <li>故事成語を使って体験文を書く。</li> </ul>					<p>「わかる」から「できる」授業への工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢文を音読すること。</li> <li>自分の体験と「矛盾」を重ねて文章を書くこと。</li> </ul>							
						<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書の活用。</li> <li>音読を繰り返す行う。(全体・ペア・個人)</li> <li>文章の例を提示する。</li> </ul>							
評価規準													
知識・技能		音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。			思考・表・判断		「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。			主体的に学習に取り組み態度		積極的に漢文を音読し、今までの学習を活かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	
		ノート・問題集・定期考査・暗唱・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・暗唱・行動観察・自己評価	
月	単元名	価値を見いだす(4)				系単元性の	「ダイコンは大きな根」では段落の役割に着目して、文章の内容を捉えていくこと、「ちょっと立ち止まって」では段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉えること『言葉』をもつ鳥、シジュウカラでは文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考えることを学習している。ここでは、必要な情報を取り出し、結び付けて要約し、筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。						
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫							
	<p>「不便」の価値を見つめ直す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考えを要約する。</li> <li>根拠を明確にして、意見をまとめる。</li> </ul>					<p>「わかる」から「できる」授業への工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を要約すること。</li> <li>筆者の主張に対する自分の考えを書くこと。</li> </ul>							
						<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめの言葉を手がかりに要約することを指導する。</li> <li>初め、中、終わりの形で書くように指導する。</li> <li>ワークシートの工夫。</li> <li>デジタル教科書の活用。</li> </ul>							
評価規準													
知識・技能		意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。			思考・表・判断		目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。			主体的に学習に取り組み態度		積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	
		ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・行動観察・自己評価	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
月	単元名	価値を見いだす(2)				系単元性の	書評を書き、交流することを通して、自分の考えや読書の幅を広げる		
12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	作品の書評を書く ・作品を選び、内容や魅力を分析する。 ・どの観点から論じるかを決め、書評を書く。 ・友達同士で書評を読み、助言し合う。						つまみポイント	・書評を書くこと。	
							工夫・手立て	・「書評に使う言葉」から使って見たい言葉を選ばせる。	
評価規準									
知識・技能	書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。				思考・表現・判断	読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見付けている。		主体的に学習に取り組む態度	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	価値を見いだす(2)				系単元性の	小学校2年生で主語と述語、小学校3年生で修飾語を学習している。ここでは、その学習を活かし、「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深める。		
12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	文法への扉2 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解してことを確認する。						つまみポイント	・文の中から文節どうしの関係を見付けること	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・読み物教材を扱う際に、どのように使われているかを確認する。	
評価規準									
知識・技能	「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。				思考・表現・判断	/		主体的に学習に取り組む態度	単語の類別を理解するために、今までの学習を活かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	①	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画										
月	単元名	読書に親しむ(1)				系統単元の	小学校5年生では作家に着目して読み広げること、小学校6年生では自分と本との関わりについて考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、読書の意義(=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解する。			
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	読書案内 ・文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。					つまずきやすい ・筆者の考え方を捉えること。				
						工夫・手立て ・筆者の考え方が分かる部分に線を引くように指導する。				
評価規準										
知識・技能	読書の意義を理解している。				思考・表現・判断	筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものになっている。				主体的に学習に取り組む態度 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を活かして考えたことを伝え合おうとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察				プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	自分を見つける(5)				系統単元の	1学期の「シンジュン」で場面の展開に着目することを、2学期の「大人になれなかった弟たちに……」では描写に着目すること、「星の花が降るころに」では場面や描写を結び付けて読むことを学習している。ここでは、場面の展開や表現の効果、語り手に着目する。また、文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。			
1	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	少年の日の思い出 ・作品の展開を捉える。概要を短くまとめる。 ・「僕」の心情の変化をまとめる。 ・別の人物の視点から文章を書き換える。					つまずきやすい ・登場人物のものの見方を読み取ること。 ・別の人物の視点から文章を書き換えること。				
						工夫・手立て ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。				
評価規準										
知識・技能	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。				思考・表現・判断	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。				主体的に学習に取り組む態度 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察				ノート・プリント・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
月	単元名	自分を見つめる(2)				系統単元の	「文法への扉1・2」の学習を踏まえ、自立語・付属語、品詞や体言・用言について理解する。		
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	文法への扉3 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する						つまずきやすい ポイント	・自立語と付属語を区別すること。	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・読み物教材を扱う際に、どのように使われているかを 確認する。	
評価規準									
知識・技能	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。				思考・表現・判断			今までの学習を活かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	
	ノート・問題集・定期考査・行動観察							主体的に学習に取り組む態度	ノート・問題集・定期考査・行動観察
月	単元名	自分を見つめる(2)				系統単元の	「少年の日の思い出」で学習した場面の展開や表現の効果、語り手に着目することを活かし、場面の展開や描写を基に、筆者の思いを捉える。また、事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。		
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	随筆二編 ・筆者の考えや思いについて話し合う。						つまずきやすい ポイント	・印象に残った表現を挙げる。	
							工夫・手立て	・具体的な表現の工夫を示す。 ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。				思考・表現・判断			進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を活かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察							主体的に学習に取り組む態度	ノート・プリント・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	①	2	3	
月	単元名	自分を見つめる(4)				系単元の	前単元の学習を踏まえ、構成や描写を考えて、印象に残る随筆を書く。また、情景や心情を適切に表す語句を選ぶ。		
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	体験を基に随筆を書く ・随筆の題材を選ぶ。 ・具体的な材料を書き出す。 ・構成を考える。 ・随筆を書く。						つまみさわやすい ポイント	・文章の構成を考えること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫 ・グループでの交流。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。				思考・表現・判断	読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。			
	プリント・行動観察					プリント行動観察			
						主体的に学習に取り組み態度 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。			
						プリント・行動観察・自己評価			
月	単元名	自分を見つめる(2)				系単元の	小学校での学習を踏まえ、中学校では、それぞれの表現の技法が「比喩」や「反復」などの名称で呼ばれていることと結び付けて、その意味や用法とともに理解し、話や文章の中で使うことができるようにする。また、直喩や隠喩、擬人法など、比喩の種類について理解していく。		
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	さまざまな表現技法 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解してことを確認する。						つまみさわやすい ポイント	・比喩の種類を理解し、何を表しているかを読み取ること。	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・読み物教材を扱う際に、どのように使われているかを確認する。	
評価規準									
知識・技能	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。				思考・表現・判断				
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								
						主体的に学習に取り組み態度 積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。			
						ノート・問題集・定期考査・行動観察			

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	①	2	3		
月	単元名	自分を見つめる(1)				系統性の	小学校5年生で漢字の成り立ちについて学習している。ここでは、その学習を活かし、漢字の成り立ちについて理解していく。			
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	漢字の成り立ち ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまみさわやすい ポイント	・漢字の成り立ちについて理解すること。		
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。		
評価規準										
知識・技能	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。				思考・表現・判断				主体的に学習に取り込む態度	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
知識・技能	ノート・問題集・定期考査・行動観察								主体的に学習に取り込む態度	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
知識・技能	ノート・問題集・定期考査・行動観察				主体的に学習に取り込む態度	ノート・問題集・定期考査・行動観察				
月	単元名	自分を見つめる(5)				系統性の	1年間の学びを振り返り、情報の整理のしかたについて理解し、集めた情報からテーマを決める。音声の働きや仕組みを理解し、聞き手の反応に注意しながら話す。			
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	一年間の学びを振り返ろう ・観点を決め、一年間の学習を振り返る。 ・集めた情報を整理し、発表内容を決める。 ・話の構成を考え、フリップを作る。 ・グループ内で発表する。						つまみさわやすい ポイント	・発表の構成を考えること。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準										
知識・技能	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。				思考・表現・判断	聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。			主体的に学習に取り込む態度	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を活かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。
知識・技能	プリント・発表・行動観察					主体的に学習に取り込む態度	プリント・発表・行動観察			
知識・技能	プリント・発表・行動観察				主体的に学習に取り込む態度	プリント・発表・行動観察				

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画				
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	①	2	3			
月	単元名	自分を見つめる(1)				系単元の	1年間の詩の学習を振り返り、表現技法の種類と効果を理解して、詩を読む。また、表現を読み味わい、作者の思いについて考える。				
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	さくらの はなびら ・印象に残った表現を発表する。 ・作者の思いについて語り合う。						つまずきやすい ポイント	・詩の表現の意味を考えること。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能	詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。				思考・表現判断	詩の解釈を通して理解したに基づいて、自分の考えを確かなものにする。			主体的に学習に取り組む態度	文章を読んで理解したに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。	
	ノート・プリント・発表・行動観察					ノート・プリント・発表・行動観察				ノート・プリント・発表・行動観察	
月	単元名	自分を見つめる(2)				系単元の	1年間の話すこと・聞くこと、読むこと、書くことの学習を振り返り、身に付けた力を確認する。				
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	学習を振り返ろう ・説明文を読み、学習課題に取り組む。 ・方言に関するスピーチを聞き、学習課題に取り組む。 ・卒業ソングに関する新聞記事を読み、学習課題に取り組む。						つまずきやすい ポイント	・既習事項を基に課題に取り組むこと。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能	曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。 課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。				思考・表現判断				主体的に学習に取り組む態度	今までの学習を活かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	
	ノート・プリント・発表・行動観察									ノート・プリント・発表・行動観察	

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	①	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 1年 年間指導計画										
月	単元名	書写(20)				系単元性の	小学校の書写では漢字の筆使い、点画のつながり、筆順、点画の組み立て方、文字の大きさと配列について学習している。ここでは、その学習を活かし、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。また漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。			
5 6 9 12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の名前と置き方と片付け方</li> <li>漢字の成り立ち及び漢字の点画</li> <li>楷書「天地」「春風」</li> <li>楷書に調和する仮名(いろは歌)</li> <li>文字の大きさと配列(俳句)</li> <li>行書の特徴</li> <li>行書</li> </ul>					つまみざきやすしい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書と行書の書き方</li> </ul>			
						工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書の活用</li> </ul>			
知識・技能	楷書や行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。				思考・表現・判断	行書の特徴を確かめている。				
	作品・行動観察					作品・行動観察				
知識・技能	進んで書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。				主体的に学習に取り組む態度	作品・行動観察				
	作品・行動観察					作品・行動観察				
月	単元名	伝統的な言語文化(5)				系単元性の	小学校での百人一首の学習を活かし、源平戦や散らし取りのゲームを通して、我が国の言語文化に触れる。			
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>百人一首に取り組む(源平線・散らし取り)</li> </ul>					つまみざきやすしい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>百人一首を覚えること。</li> </ul>			
						工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの工夫。(百人一首の覚え方)</li> <li>グループ活動を取り入れる。</li> <li>映像教材の活用。</li> </ul>			
評価規準										
知識・技能	目標より多くの札を覚えることができる。				思考・表現・判断					
	プリント・行動観察									プリント・行動観察
知識・技能	「百人一首」のゲームを通じて親しんでいる。				主体的に学習に取り組む態度	プリント・行動観察				
	プリント・行動観察					プリント・行動観察				